

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【公開番号】特開2013-121007(P2013-121007A)

【公開日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2011-267230(P2011-267230)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 9/04 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 9/04 B

G 0 3 B 17/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月3日(2014.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動画を撮影可能な撮像手段と、

前記撮像手段により撮影する環境が水中か否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により、撮影する環境が水中であると判定した場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、記録状態であることを示す表示アイテムを表示画面の有効表示領域の複数の辺に表示するように制御する表示制御手段と  
を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記判定手段によって撮影する環境が水中でないと判定した場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、記録状態であることを示すアイコンを表示画面の有効表示領域の1辺に表示するように制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記表示制御手段は、固定の動画記録予定時間の動画を撮影する動作モードで撮影を行う場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、前記記録予定時間に対する現在までの記録状態の進捗表示を行い、前記判定手段によって撮影する環境が水中であると判定された場合とそうでない場合とでは前記進捗表示の色を異なる色で表示するように制御することを特徴とする請求項1または2に記載の撮像装置。

【請求項4】

動画を撮影可能な撮像手段と、

水中での撮影のための撮影モードを含む複数の撮影モードのいずれかに設定する設定手段と、

前記水中での撮影のための撮影モードに設定されている場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、記録状態であることを示す表示アイテムを表示画面の有効表示領域の複数の辺に表示するように制御する表示制御手段と

を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 5】

前記水中での撮影のための撮影モードに設定されていない場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、記録状態であることを示すアイコンを表示画面の有効表示領域の 1 辺に表示するように制御することを特徴とする請求項 4 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、固定の動画記録予定時間の動画を撮影する動作モードで撮影を行う場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、前記記録予定時間に対する現在までの記録状態の進捗表示を行い、前記水中での撮影のための撮影モードに設定されている場合とそうでない場合とでは前記進捗表示の色を異なる色で表示するように制御することを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記水中での撮影のための撮影モードは、青みをおさえたホワイトバランスに調整される撮影モードであることを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

動画を撮影可能な撮像手段と、  
水中パックに収納されているか否かを判定する判定手段と、  
前記判定手段によって水中パックに収納されていると判定した場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、記録状態であることを示す表示アイテムを表示画面の有効表示領域の複数の辺に表示するように制御する表示制御手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 9】

前記判定手段によって水中パックに収納されていないと判定した場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、記録状態であることを示すアイコンを表示画面の有効表示領域の 1 辺に表示するように制御することを特徴とする請求項 8 に記載の撮像装置。

【請求項 10】

前記表示制御手段は、固定の動画記録予定時間の動画を撮影する動作モードで撮影を行う場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、前記記録予定時間に対する現在までの記録状態の進捗表示を行い、前記判定手段によって水中パックに収納されていると判定した場合とそうでない場合とでは前記進捗表示の色を異なる色で表示するように制御することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の撮像装置。

【請求項 11】

前記表示アイテムは、前記複数の辺に沿った枠であることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 12】

前記表示アイテムは赤色で表示されることを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 13】

前記表示アイテムは、青または緑の補色で表示されることを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 14】

前記表示制御手段は、前記表示アイテムを表示している状態で動画の記録が終了したことに応じて、前記表示アイテムを非表示とするように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 15】

前記撮像装置は、水中パックに収納可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 14 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 16】

前記表示画面の明るさを調整可能な輝度調整手段を有し、  
前記輝度調整手段は、前記撮像手段での動画の記録中に前記表示アイテムを前記複数の辺

に表示する場合には、前記撮像手段での動画の記録中に前記表示アイテムを前記複数の辺に表示しない場合より明るく表示するように調整することを特徴とする請求項 1 乃至 1 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 1 7】

動画撮像工程と、

前記動画撮像工程により撮影する環境が水中か否かを判定する判定工程と、

前記判定工程により、撮影する環境が水中であると判定した場合には、前記動画撮像工程での動画の記録中に、記録状態であることを示す表示アイテムを表示画面の有効表示領域の複数の辺に表示するように制御する表示制御工程とを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 1 8】

動画撮像工程と、

水中での撮影のための撮影モードを含む複数の撮影モードのいずれかに設定する設定工程と、

前記水中での撮影のための撮影モードに設定されている場合には、前記動画撮像工程での動画の記録中に、記録状態であることを示す表示アイテムを表示画面の有効表示領域の複数の辺に表示するように制御する表示制御工程とを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 1 9】

動画撮像工程と、

水中パックに収納されているか否かを判定する判定工程と、

前記判定工程によって水中パックに収納されていると判定した場合には、前記動画撮像工程での動画の記録中に、記録状態であることを示す表示アイテムを表示画面の有効表示領域の複数の辺に表示するように制御する表示制御工程とを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 2 0】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 6 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるプログラム。

【請求項 2 1】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 6 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の撮像装置は、動画を撮影可能な撮像手段と、前記撮像手段により撮影する環境が水中か否かを判定する判定手段と、前記判定手段により、撮影する環境が水中であると判定した場合には、前記撮像手段での動画の記録中に、記録状態であることを示す表示アイテムを表示画面の有効表示領域の複数の辺に表示するように制御する表示制御手段とを有することを特徴とする。